



相次ぐ自然災害に
友の会の役割再認識



司会の十井康文事務局長

まちづくりの輪を大きく

新春 ビッグ対談

昨年、健康友の会みみはらの総代会で新しい会長に就任された江戸道子さんと社会医療法人同仁会の齊藤和則理事長との2019年『新春ビッグ対談』です。進行は社会医療法人同仁会の副理事長で、友の会事務局長の土井康文です。

江戸（間を手） ほしめに
新年の抱負をお話しいただ
きます。それでは最初に江
戸会長から——。

会員の健康を守らなかつては、この連盟の使命を果すことは不可能である。そこで、地域づくりもしていただきたい。支えといつしょに、役目をもつて、ご協力いただいている。本当にありがとうございます。

に堺市長選挙をふまえて、市長を呼んでタウンミーティングをしました。一定の成果はありましたが、選挙期間中に限らず、定期的に交渉の場を持ちたいと考えています。署名活動も鳳クリニックの玄関前が中心になっていますが、もうちょっと広げたいと思います。

鳳クリニックは老朽化がすんでいますので、早くきれいにしてほしいところを要望があります。

一方で、1年間の軍事費は5兆円もあるのです。軍事予算を「教育・社会保障、生活にまわせ！」と私たちの先輩も声をあげていましたが、私たちもその声を上げ続けなければいけません。

選挙はもちろん大事ですが、普段から行政もまきこんで軍事費にお金をかけない、生活にまわせという声を大きくしていくかなければいけないと感じます。

健康友の会みみはら会長
江戸道子

齊藤 あけましておめでと
はります。同じ会のみ
かのクリニック、介護事業
所などグループとして地域
の方々には大変お世話にな
っております。友の会は、

土井 江戸新会長は、慌ただしく毎日を過ごされていました。どうしたことですが、昨年の地域の活動や友の会の活動全体を通じて、地域での様子はいかがでしょうか。

土井 社会保障の切り捨てのなかで、格差と貧困、その格差が健康格差にもつながっている。じぶんに子どもへの貧困が非常に大きな社会問題になっています。じつは、この中での友の会のいろん

な子どもに向かっての取り組み等、地域での状況をお話しさせて顶きました。

若い人に働きか
職員の力が必要



選挙はやかのん大事ですが、普段から行政もまきこんで軍事費にお金をかけない、生活にまわせどいい声を大きくしていかなければいけないと感じます。

一方で、1年間の軍事費は5兆円のもあるのです。成果はありましたが、選挙期間中に限らず、定期的に交渉の場を持ちたいと考えています。署名活動も鳳クリニックの玄関前が中心になっていますが、もうちょっと広げたいと思います。

軍事予算を「教育、社会保障、生活にまわせ！」と私たちの先輩も声をあげていましたが、私たちもその声を上げ続けなければいけ

し、「医療費が高いのは「病院が儲けている」と思われています。鳳工リアでは一昨年6月に堺市長選挙をふまえて、市長を呼んでタウンミーティングをしました。一定の負担もどんどん上がり、そして日常食料品等の物価も上がっています。若い人は非正規で低賃金ですから、全世代にわたって生活しにくくなっていると思います。

さんとか患者さんといろいろな話をします。もしもの時に耳原病院を頼りにしてくれている人がたくさんおられ、それは私たちにとてもうれしいことです。

残念なのは、「なんかやうたらすぐに入院させてくれたのに、今はさせてもらえない」と言われる。患者さんにしたらい少ない年金から今までの保険料が戻りかねる

齊藤 江戸会長が最初にお話されたように、かかりにくくなっているというのには、いくつか原因があります。年金は下がるし、保険料は上がっているが、診